

# 2009年度 防災教育チャレンジプラン



## プロジェクトG

～ママの安心防災対策～

あそびma・senka 西里真澄

# あそびma・senka ?

## 「親子のコミュニケーション」を 応援する活動

- ・「子そだて」「子そだち」「あそび」に関するワークショップを開催。
- ・お父さんの育児参加を応援。

## 「いのち」を支えはぐくむ活動

- ・家族の絆を深め、子どもの自己肯定感を育てるワークショップ開催。
- ・思いを形に！「百はぎの着物」作成。

**ネットワークづくり** 「知的」「人的」「物的」なネットワークの構築と情報発信。



あそび

ma・senka



合言葉は  
「もっと楽しく」  
「もっと豊かに」  
あそび ma・senka

# 「親子のつながりを支える」父親活動



# 2009年度 防災教育チャレンジプラン

## プロジェクトG

### ～ママの安心防災対策～



・ 妊婦～乳幼児をもつ家族 および 地域の支援者を対象

①幼稚園・保育園に入園入園していない世帯は、地域活動への参加の機会が少なく情報に乏しいため、被災時に孤立してしまうのではないかと不安が大きい

②母子保健活動に従事している支援者も、乳幼児に特化した防災の知識に乏しく、情報を求められても十分な対応が出来ていない。

# フラン展開

## <災害の理解>

防災・被災事例の理解内閣府ホームページ・助産雑誌などの文献より、  
スタッフ間の共通理解のための学習会を実施

★特に、対処となる女性・乳幼児にかんする災害状況、避難行動など

## <行政・保育施設などの防災体策の把握>

内閣府・岩手県・県内市町村などのホームページより検索および聞き取り  
「行政が何とかしてくれるはず・・・」→個人の体策が必須！

家族の安否確認が困難  
父親不在での母子での  
避難・生活・片付け・・・

## <対象者の現状把握>

妊婦～3歳までの乳幼児をもつ家庭へ

「子育て世帯の防災に関する調査」実施

- 全体的に意識して「防災」に取り組んでいる家庭は少ない
- 家具固定・被災時の備蓄を行っている世帯は3割程度だがそのほとんどが「不十分」だと思っている
- 被災時、3割近い家庭の父親が「勤務先に留まる必要がある」と回答し、「場合によっては出勤の必要がある」とあわせると8割の家庭が父親が不在になる可能性があるが、連絡体制や避難行動、備えについて相談している家庭は少ない
- 保育園などのむかえの不安

- ★減災 ・ 連絡体制 ・ 帰宅困難 ・ 高層難民 ・ 必要な備え？
- 地域コミュニティーとの関わり

## <防災意識向上への取り組み>

### 「ママも安心防災サロン」

- ・震災を中心に 災害の基礎知識・減災への取り組み・災害時の行動のとり方・備蓄品のパネル展示(妊婦・乳幼児の被災事例や被害予測、必要な備え)
- ・アンケート調査結果パネル紹介 : 妊婦～子育て中(3歳までの乳幼児)の家族への防災意識と取り組み状況
- ・備蓄食品(パンの缶詰・アルファ米)の試食コーナー
- ・家族ごとの防災プラン作成コーナー
- ・ミニ講座 : 地震の知識と防災(盛岡地方気象台)  
乳幼児の救急処置・乳幼児の家庭の救急箱 など

# チャレンジ完了後の展開について

- ・アンケートにて把握されたニーズをもとに、的確な支援にむけて更なる取り組みをする。(情報を継続的に発信できるシステムの構築など)
- ・事業で構築したネットワークをもとに、世代間の交流やまちづくりも含んだ相互協力での支援。
- ・チャレンジ完了後も支援者間で情報交換や相互協力をおこない、状況に即した情報の発信と教材の見直しをする。

